



## 2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年4月26日

上場会社名 太洋テクノレックス株式会社  
コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-tx.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長  
四半期報告書提出予定日 2024年5月1日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2023年12月21日～2024年3月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	865	7.0	1		3		6	
2023年12月期第1四半期	808	3.3	73		62		44	

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 50百万円 ( %) 2023年12月期第1四半期 47百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	1.04	
2023年12月期第1四半期	7.49	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,880	2,572	52.1
2023年12月期	4,577	2,539	54.8

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 2,540百万円 2023年12月期 2,508百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		3.00	3.00
2024年12月期					
2024年12月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2023年12月21日～2024年12月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,797	2.0	84		87		88		14.93
通期	3,994	17.1	44		39		22		3.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	5,951,600 株	2023年12月期	5,951,600 株
2024年12月期1Q	6,227 株	2023年12月期	6,227 株
2024年12月期1Q	5,945,373 株	2023年12月期1Q	5,945,374 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、中東情勢の緊迫による原油価格の上昇や中国経済の停滞、物価上昇に伴う実質賃金のマイナスの影響はあったものの、半導体及び生成AI関連の成長領域における旺盛な設備投資意欲や円安を背景としたインバウンド需要の増加により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属する電子基板業界は、EV及び先進運転支援システム向け高機能製品の需要は堅調を維持したものの、産業機器関連では顧客の在庫調整が想定以上に長期化していることや中国経済の停滞により設備投資需要が低迷していること、ICT(情報通信技術)関連向け製品の需要が低迷していることから、低調に推移いたしました。

このような経済環境の下、電子基板事業及び産機システム事業において販売は減少したものの、テストシステム事業及び鏡面研磨機事業において販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。

これらの結果、連結売上高は865百万円(前年同四半期比7.0%増)と、前年同四半期連結累計期間に比べ56百万円の増収となりました。

損益については、産機システム事業の売上高が減少したことに伴う影響はあったものの、テストシステム事業及び鏡面研磨機事業において売上高が増加したこと並びに電子基板事業の売上総利益率が上昇したことにより営業利益1百万円(前年同四半期は73百万円の営業損失)、経常利益3百万円(同62百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益6百万円(同44百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子基板事業)

民生品及び産業機器向け製品の在庫調整が長期化している影響等により、その他セットメーカー及びディスプレイメーカー向け等のFPCの販売が減少したことから売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響はあったものの、原価構造の改善や仕入販売製品の減少による売上総利益率の上昇に伴う影響により増益となりました。

その結果、売上高572百万円(前年同四半期比7.9%減)、セグメント利益102百万円(同3.9%増)となりました。

(テストシステム事業)

パッケージ基板及びセラミックス基板向け外観検査機並びにFPC向け通電検査機の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高の増加及び利益率の高い製品の販売による売上総利益率の上昇に伴う影響により黒字転換いたしました。

その結果、売上高175百万円(前年同四半期比274.8%増)、セグメント利益18百万円(前年同四半期は55百万円のセグメント損失)となりました。

(鏡面研磨機事業)

リチウムイオン電池用フィルム加工向けの研磨機や研磨に使用する消耗品の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により黒字転換いたしました。

その結果、売上高102百万円(前年同四半期比102.9%増)、セグメント利益8百万円(前年同四半期は0百万円のセグメント損失)となりました。

(産機システム事業)

大型パッケージ基板の自動検査ライン等の販売があった前年同四半期の反動減により、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により損失が拡大いたしました。

その結果、売上高15百万円(前年同四半期比82.3%減)、セグメント損失13百万円(前年同四半期は4百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ186百万円増加し、2,721百万円となりました。これは主として、売上債権並びに現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ116百万円増加し、2,159百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得及び固定資産のその他に含まれる投資有価証券の時価が上昇したことにより増加したものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ218百万円増加し、1,070百万円となりました。これは主として、短期借入金が増加したこと及び夏季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、1,238百万円となりました。これは主として、長期未払金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、2,572百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2024年1月30日公表の「2023年12月期決算短信」からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,279,784	1,348,672
受取手形及び売掛金	632,233	764,121
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	73,880	103,359
仕掛品	341,045	286,418
原材料及び貯蔵品	122,114	122,320
その他	36,184	47,073
貸倒引当金	△382	△493
流動資産合計	2,534,859	2,721,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	293,197	287,515
機械装置及び運搬具(純額)	173,161	250,911
土地	906,424	906,424
その他(純額)	30,191	34,712
有形固定資産合計	1,402,975	1,479,564
無形固定資産		
その他	78,512	70,257
無形固定資産合計	78,512	70,257
投資その他の資産		
その他	565,583	613,549
貸倒引当金	△4,012	△3,922
投資その他の資産合計	561,570	609,626
固定資産合計	2,043,057	2,159,448
資産合計	4,577,917	4,880,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	117,063	109,423
短期借入金	339,166	550,770
未払法人税等	16,108	5,286
賞与引当金	—	27,999
製品保証引当金	720	727
その他	378,663	375,837
流動負債合計	851,721	1,070,043
固定負債		
長期借入金	414,747	388,914
長期未払金	77,895	142,108
役員退職慰労引当金	164,370	164,370
退職給付に係る負債	520,696	534,021
資産除去債務	9,247	9,247
固定負債合計	1,186,957	1,238,661
負債合計	2,038,679	2,308,705
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	815,198	815,198
資本剰余金	938,498	938,498
利益剰余金	656,978	645,355
自己株式	△116	△116
株主資本合計	2,410,559	2,398,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,817	92,116
為替換算調整勘定	48,202	49,745
その他の包括利益累計額合計	98,019	141,861
非支配株主持分	30,659	31,419
純資産合計	2,539,238	2,572,217
負債純資産合計	4,577,917	4,880,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年3月20日)
売上高	808,963	865,849
売上原価	603,988	593,605
売上総利益	204,975	272,244
販売費及び一般管理費	277,979	270,476
営業利益又は営業損失(△)	△73,003	1,767
営業外収益		
受取利息	409	385
助成金収入	3,679	2,515
作業くず売却益	11,286	91
その他	1,430	2,252
営業外収益合計	16,806	5,244
営業外費用		
支払利息	2,384	2,412
債権売却損	1,133	654
為替差損	2,451	—
その他	137	76
営業外費用合計	6,106	3,143
経常利益又は経常損失(△)	△62,303	3,868
特別利益		
補助金収入	97,723	8,366
特別利益合計	97,723	8,366
特別損失		
固定資産除却損	82	—
固定資産圧縮損	97,723	8,366
投資有価証券評価損	75	—
特別損失合計	97,882	8,366
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△62,462	3,868
法人税等	△16,368	△2,955
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,094	6,824
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,580	611
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,513	6,212



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年3月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,094	6,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,967	42,299
為替換算調整勘定	1,920	1,691
その他の包括利益合計	△1,047	43,990
四半期包括利益	△47,141	50,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,197	50,055
非支配株主に係る四半期包括利益	△944	760

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年12月21日 至 2023年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	621,432	46,843	50,275	90,411	808,963	—	808,963
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	216	216	△216	—
計	621,432	46,843	50,275	90,628	809,180	△216	808,963
セグメント利益 又は損失(△)	98,715	△55,256	△426	△4,456	38,576	△111,580	△73,003

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△111,580千円には、セグメント間取引消去等4,225千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,806千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月21日 至 2024年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	572,255	175,585	102,012	15,995	865,849	—	865,849
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	219	219	△219	—
計	572,255	175,585	102,012	16,215	866,068	△219	865,849
セグメント利益 又は損失(△)	102,564	18,803	8,966	△13,909	116,424	△114,656	1,767

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,656千円には、セグメント間取引消去等5,397千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△120,054千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。